

■04 交代でキスしながらパイズリで連続抜き、してあげるね♪

真由莉「まあ…いらつしやい。

ボクくん、今日も来てくれたのね…♪

嬉しい…♪

ん…ちゅ…んっ…

(■※優しいディープキス 15秒ほど)

花蓮 「おやおや、こんなに短いスパンで

また来ちゃうなんて…♪

やっぱりお姉さんたちに

ズブズブになっちゃったの…?

真由莉「っぷあ… でも大丈夫?

このお店、とっても高いでしょう?

ボクくん、まだ18歳になつたばかりなんだし…

花蓮 「そつかあ、これまで頑張つて、

バイトで貯めてたんだ…?

ふふ、えらいぞ… 少年…♪

ほら、お姉さんもねぎらつてやろ…♪

んんっ！ ちゅばちゅばれろちゅばっ！

(■※ディープキス 20秒ほど)

真由莉「でも無理しないでね…?

キシ、まだ若いんだから…。

お金はちゃんと、大切に使うのよ…?

花蓮 「っぷあ…♪

じゃあ今日もお姉さんたちが、

いっぱい気持ちよくしてあげるからね…♪

前回は結局、えっと…何発出したんだっけ…?

10発くらいまでは数えてたんだけど…

ん… 途中から覚えてないや。

とにかく、カラ撃ちになって
全く出なくなるまで射精、
しちゃったもんね〜♪

あれから数日間、
もう性欲なんて全然沸かなかったでしょ♪

真由莉「ふふ、帰る時なんて、

魂抜かれたみたいにな、ずっと

ぽ〜〜〜っ としてたものね…♪

じゃあ、今日もまた、魂ごと

精液吸い出しちゃうから…♪

楽しみにしててね…♪

ん、ちゅ…ちゅぽ…

(■※ディープキス音 10秒ほど)

く間く

真由莉 「んっ…♪ はあ…。

ふふ、どうしたの…？

今日はそんなに一生懸命、

おっぱいちゅうちゅ吸って…♪

ん… んっ… はあ…♪

もう、赤ちゃんみたい…♪

(■※ゆっくり、少し感じてる吐息 15秒ほど)

花蓮 (■※マイクやや左より)

「ふふ、真由莉さん、ママ凄いわもんね〜♪
おっぱいもすっつ…こくおっきくて、長いし…♪
その細さで Lカップよしカップ…。

このお店で働いてる小町の数つて
めちやくちや多いけど……。
流石にTOPクラスよね。

ん？どうしたの？ボクくん……？
次は、私のおっぱい、吸いたいの……？

ふふ、いいわよ～♪
ん、ちよと待ってね。

ん…… ふ……。

はい、どうぞ～♪

んっ……♪

んっ……ふふ、

私のおっぱいも、いいものでしょ……？ んっ……

弾力と貼りがあつて、こっちはこっちで
クセになりそうでしょ？

ん…… はあ…… ん……

いいよ。いっぱい吸いな～。

え？

ふふ、Gカップよ～。

(■※ゆっくり、ちよとだけ感じてる吐息 15秒ほど)

真由莉「ふふ、ボクくん赤ちゃんみたい……♪

夢中になつて、

乳首に吸い付いて……♪

おくちだけじゃなくて、おっぱいも大好きなのね……♪

じゃあ花蓮さん……今日は、

アレ…… してあげましょっか……♪

花蓮 「あ、そうね〜♪ アリかも…♪
じゃあボクくん…

(■※花蓮 ひだり耳ゼロ距離)
(■※真由莉 みぎ耳ゼロ距離)

ふたり「今日は、パイズリ…してあげる…♪

真由莉「ふたつのおつきなおっぱいでえ…
おちんちんを、しっかり挟んでえ…♪
ずりずりずりずり…。
ずりずりずりずりずりずり…。

気もちよ〜〜〜〜〜
こすつてあげる…♪

花蓮 「ぱんぱん、ぱんぱんって音を立ててえ…♪
バックでセックスするみたいなパイズリ、
してあげる…♪

真由莉「ずぼずぼ…ずぼずぼ。
ぬっぽぬっぽ…。。ぬっぽぬっぽ。 って…
おっぱいの間に出し入れして…
おっぱいとおっぱい、セックス…しようね…♪

花蓮 「ボクくんは、無責任に
種付けでもするみたい…
びゅっ…びゅっ…。。 びゅっ…びゅっ…。。 って。
気持ちよ〜〜〜〜〜
おっぱい中出し…しちやおうね…♪

花蓮 「(■※耳から離れて)
(■※パイズリ距離に移動)

ふふ、じゃあ私から行くわよ…。
ボクくん、寝っ転がつてね…。
そうそう、腰を上げて…？

ん、しょ…♪

はい、じゃあおちんちん、
挟んじやいま〜す♪

んっ…♪

真由莉「(■※少しだけ、耳から距離をとって)

わあ…♪ すごい…♪

ほら、ボクくん…♪

おちんちんが、 おっぱいでガツチリ…♪

ホールドされちゃったね…♪

花蓮 「ふふ、もう気持ちいいの？

まだ早いわよ〜？

じゃあ、挟んだまま、

まずは上下に…動かすね〜♪

ん… ふっ… んっ… ん…

んっ… ふっ… んっ…

ふふ、どう？ ボクくん…

ん、ふ… んっ…

初めての、パイズリは…♪

ん、 ふっ… ん…

ほら、おっぱいが、

ねっとり… 纏わりつくみたいに、

おちんちんを挟んだまま…

上下に…ずり…♪ずり…。

ずり… ずり…。

ん…ふ… ん… んっ…

ふふ、透明なお汁、もう出て来てるぞ〜？

んっ… んっ。 ん… んっ…

(■※パイズリ吐息 20秒ほど)

(■※パイズリ中は、自分が感じている喘ぎ声ではなく、あくまで多少息が上がる、みたいな感じをお願いします)

真由莉「まあ♪ もう感じちゃってるのね…♪

じゃあ、私も…♪

「ここは接吻亭、だからね…♪

当然キスも… 忘れちゃダメよ…♪?

ほら、お口開けて…♪?

んっ…♪

(■※優しいディープキス音 30秒ほど)

花蓮

「あは♪ びくんつてした…♪

パイズリされながらキスまでされて…

んっ… んっ…

そりゃ強烈だよね…♪

じゃあ、もっと気持ちよくするために、
ツバをおちんちに垂らして…

んあ…♪

ふふ、ペース… 上げちゃうね?

んっ! んっ!

んっ、 んっ… んっ… ふっ… んっ…!

(■※パイズリ声 少しペースアップ 30秒ほど)

真由莉 「わあ♪ すごい♪

ほら、見て、ボクくん…♪

ぬつちぬつち…♪。 ぱんっ ぱんっつて…♪

おまんこに挿入するみたいな…

エッチな音立てて、おっきなおっぱいが、

ボクくんのおちんちん、

扱きあげてるね…♪

ちゅぱれろちゅぱ…？

気持ちいい…？

甘〜く 舌を絡め合ったまま…

Gカップのおっぱいで、パイズリされて…♪

んっ… れろちゅぱちゅぱ…

自分でへ〜に腰動かしちゃうくらい、

気持ちよ〜くって、仕方ないの…？

(■※ディープキス音 30秒ほど)

花蓮 「ん、んっ…

ほら♪ ぱん、ぱん♪ ぱん、ぱん♪

んっ ん、んっ！ んっ んっ！

ずりずり♪ ずり♪ ずり♪ ずり♪ ずり♪

ずりずり♪ ずり♪ ずり♪ ずり♪ ずり♪

ん、ん、…ふふ、

いっぱいいっぱい、こすってあげるね〜♪

ん、んっ ん、んっ…

いっぱいおっぱいでずりずりされて…

ん、 んっ んっ…

おちんちん、気持ちよ〜くなろうね〜♪

(■※パイズリの吐息 30秒ほど)

真由莉 「ちゅばちゅば・・・♪

キスしながらのパイズリ・・・

とってもエッチだね・・・ んんっ

ちゅばれろちゅばちゅばっ・・・♪

エッチな事、覚えてたてのうちから、

またこんなすごいプレイ覚えてちゃって・・・

お姉さんたち、キミの将来が心配よ・・・？

れろれろちゅばれろへちよっ・・・♪

ほら、おっぱいだけじゃなくて、

お口でもいっぱい、

気持ちよくなろうね・・・♪

(■◆ディープキス音 30秒ほど)

花蓮

「んっ・・・ っつかいおっぱいから出してえ・・・♪

んっ・・・ ほら♪ ぐりぐり・・・

竿を挿んで・・・鬼頭をぐりぐり・・・

おっぱいの乳首にこすりつけちゃってるよ・・・♪

ん・・・ はあ・・・♪

ふふ、急にぱんっぱんになってる鬼頭を、

ぐりぐり責められて・・・

これも気持ちいいでしょ・・・♪

ぐりぐり・・・ ぐりぐり・・・♪

え？ 敏感になってたから、

もうイキそう・・・？

ふふ・・・じゃあまたおっぱいに挟んでえ・・・

スパートかけてあげるから、

いっぱいパイズリ抜き・・・しようね♪

んっ！ んっ んっ・・・ ふ、ん、 んっ！

(■◆※パイズリ声 25秒ほど)

真由莉 「いのよ、いつでもイッて…♪

れろれろれろ…

舌同士の粘膜をこすり合わせながら、
可憐さんのおっぱいでも
いっぱいこすってもいい…
気持ちよ〜く、パイズリ射精、
しましょうね…♪

(■※ディープキス50秒ほど)

花蓮 「ん、んっ んっ…!

ほら、ぱん、ぱん、ぱん♪
ずりずり♪ずり♪ずり♪ずり♪ずり♪
ずりずり♪ずり♪ずり♪ずり♪ずり♪

ん、 んっ んっ んっ… んっ…!

あ、イク?

ん、 んっ んっ んっ ふっ…
ふふ、いいよ〜♪
ん、んっ…、 ふ、 ん、 んっ…

しっかり最後まで…:んっ
おっぱいでこすってこすって…
しこき続けてあげるから…:♪
ん、ふ、んっ んっ んっ…

ボクくんは気持ちよ〜くパイズリ抜きして、
おっぱいの間をどろどろに汚す事だけ
考えててね〜♪

ん、 んっ んっ んっ… んっ…!

(■※パイズリ 20秒ほど)

(■※射精)

花蓮 「あっ!？」

んっ… あっ…♪

やんっ♪ 出てる…♪ んっ… あっ…♪

んっ… んっ…♪ はあ…

んっ… んっ… ん… んっ…

んっ… ふ… んっ… ん… んっ…

真由莉「まあ♪ パイズリ射精、しちやったね…♪

ふふ、気持ちいい…？

初めてのパイズリ射精、

とっても気持ちいいの…？

れろちゅばちゅば…♪

ほら、優しく舌を絡め合ったまま、

最後の一滴まで…。

おっぱいで絞り出して貰いましょうね…♪

んっ… れろちゅば… ちゅばちゅばちゅば…♪

花蓮 「んあっ…♪

はあ… 出し切った…？

ボク君、いつもほんと射精、長いわよね…♪

じゃあ、おっぱいからおちんちん、

抜いちゃうね…？

んっ…♪

真由莉「お疲れ様…♪

いっぱい射精して、気持ち良かった…？

(■※フエラを意識した場所に移動)

ん…れろ…

じゃあ、今日もおちんちん、

綺麗にしてあげるからね…♪

ん… れろ… ちゅぱ… れろ…

(■※おそうじフエラ 20秒ほど)

花蓮「はあ…♪ ほら、おっぱい見て…?」

ぬぱあ~~~~~っ…♪

ほら♪ おっぱいの間に、

こんなにいっぱい、射精したんだよ…♪

真由莉「まあ、すっ…い…♪

花蓮さんのおっぱいの間、

精子が、たっぷり…♪

粘り気の強い精子でふっとい糸…

引いちやつてるわね…♪

花蓮 「(■※ひだり耳元によつて 囁く感じで)

初めてのパイズリで、

おっぱいに散々中出して…。

立派なザーメンブリッジ…

作っちゃったね…♪

もう、ここは接吻亭なのよ…?」

パイズリ亭じゃ、ないんだから…♪

ちゅぱれる…

(■※ディープキス音 20秒)

真由莉「尿道に残ってる分も…♪

ず~~~~~♪

ちゅ~~~~~♪

あん♪ また硬くなってきた…♪

もう、元気なんだから…♪

じゃあ、今度は真由莉お姉さんが、
おっぱいでしてあげるね…？

いつもはおくちで連続抜きしてあげてるけど…
今日はおっぱいで、連続抜きしてあげるわね…♪

んっ…

花蓮 「わあ…♪ すっっ…い…♪

なっがいおっぱいで、

おちんちん、簡っ単に、隠れちゃったね…♪

ボクくんのおちんちんも

結構立派なんだけどお…♪

それでもあつっ さり…♪

見えなくなっちゃったね…♪

真由莉「ふふ、元気なおちんちんが、

早く気持ちよくなりたいよ~~~~っで。

おっぱいの間でビクンビクンっで、

脈打ってるね…♪

じゃあ、またいっぱい気持ちよ~~~~く…

こすってあげるわね…♪

んっ！

んっ♪ んっ… ん、んっ…

んっ… んっ… んっ…

(■※。パイズリ音 30秒ほど)

花蓮

「わあ♪ 真由莉さんのパイズリ、
すごい迫力…♪

流石に。パイズリだと

真由莉さんには敵わないかな。

くそ〜、私の方が先輩なんだけどな〜。

ふふ、ほら、ボクくん、蕩けてないで。

またキスするわよ…？

ねつとり、脳みそまで溶けるような、

舌を絡める甘いキスするから…

おくち、開けてね？

んっ…♪

(■※優しいディープキス 30秒ほど)

真由莉「ん、んっ…んっ…

まあ、ボクくんの恥ずかしいお汁で、
もうおっぱいの間、

ぐちゅぐちゅになっちゃったよ…♪

んっ、 ん、 んっ… んっ…
んっ ふっ… んっ… んっ…

ほら、ぬっちゅ♪ぬっちゅ♪ぬっちゅ♪ぬっちゅ♪
ぬっほ、ぬっほ、ぬっほ、ぬっほ…
ぬっほ、ぬっほ、ぬっほ、ぬっほ…♪

すごいね…ボクくんのおちんちん、
いっぱいおっぱいに挿入しちゃってるね…♪

んっ ふっ ん、 んっ…

おっぱいといっぱい、セックスしちゃってるね…♪

(■※パイズリ音 40秒ほど)

花蓮 「わあ…すごい…。

しカップのなっがいおっぱいが、

ぐにやつ ぐにやに形を変えながら

吸い付くみたいに

にゅっぱにゅっぱにゅっぱにゅっぱ…

おちんちんを抜きあげてるわね…♪

ちゅばれろちゅばちゅば…

え？ 普段使ってたオナホールなんかより、

何倍も気持ちいいの…？

れろちゅばちゅば…

ふふ…♪ 本来オナホールつて、

抜くただけに開発されてるはずなんだけどね…♪

やっぱり真由莉さんのパイズリ、

とんでもないわね…♪

れろちゅばちゅば…

(■※キス音 30秒ほど)

真由莉「じゃあ次は、左右のおっぱいを、

それぞれ違う動きで、こすってあげるからね…♪

おっぱいで挟んだまま、

ボクくんのおちんちんを

上下だけじゃなくて、

前後左右にもぐちやぐちやに

こねくり回すみたいに… んっ

おちんちん、おっぱいず
ぐちゃぐちゃにしちゃうからねっ♪

んんっ！

ん、ふ… ふ… っ

んっ… ふっ… っ…

ほっ♪ ぐっちゅぐっちゅ♪

ぐっちゅぐっちゅ ぐっちゅぐっちゅ♪

(■※今までの息遣いよりも遅く。)

(■※パイズリの吐息 40秒ほど)

花蓮 「っふぁ…♪ ほら、見て？

真由莉さんの規格外のサイズだと、
こゝんなに。 両手で持ったおっぱいを、
自由自在に動かせるのよ…♪

ほら♪ボクくんのおちんちん、
おっぱいでもみくちやにされちゃってるね…♪

ちゅぱれろちゅぱ…

ぬちやぬちやエッチな音立てながら、
おっぱいでグッチャグチャにされちゃってるね…♪

(■※キス音 30秒ほど)

真由莉「じゃあ次はさつきより激しく…

ぬっぽぬっぽおまんこに挿入するみたいに、
抜き差しするパイズリでこすってあげるね…♪
んっ… っ… っ…

もう敏感になつてゐるおちんちん……。
おっぱいでぐちゃぐちゃになれて、
いっぱい気持ちよくなつてねっ♪

んっ！

んっ、 ふ、 んっ……。 んっ ん、 んっ……

(■※さつきより少しだけ早目のリズムで。)

(■※30秒ほど)

花蓮 「まあ凄い♪ めっちゃめっちゃ

エッチしてるみたいな音たてながら、

おっぱいに抜き差し、しちゃつてるね……。♪

本当にセックスでもしてるみたい……。♪

ちゅばちゅば……。気持ちいい？

れろれろ……。 上のお口でもセックスしたまま、

おっぱいともセックスしちゃつて……。♪

ちゅばちゅばれろちゅばちゅば……

もう頭の中、射精する事だけで、

いっぱいになっちゃつて……。？

(■※キス音 30秒ほど)

真由莉「ほら、ぬっふぬっふ、ぬっふぬっふぬっふ……。っ

ぬっふぬっふ、ぬっふぬっふぬっふ……。っ

んっ んっ んっ……。

パイズリセックス、気持ちいい……。っ

オナホールなんかよりずっとずっと吸い付いて……

ん、 んっ んっ……。 んっ……

おっぱいに出し入れされる度に、

おちんちん、溶けちゃうみたいに

気持ちよくなっちゃうね……。っ

あっ……♪ ああ……♪

ふふ、出てる……♪ んっ…… はあ……♪

あっ…… あっ…… はあ……♪

あっ…… あっ…… ♪

花蓮「ふふ♪ また射精しちゃったね……♪
れろれろれろ……♪

ほら、出して……っ

おっぱいでぎゅっっつてされたまま……♪

ちゅぱちゅぱちゅぱ……

いっばい中出して……っ

ちゅぱちゅぱちゅぱ……♪

真由莉「はあ……

やっと射精、終わったね……♪

もう♪ またいっばいっばい出して……♪

すっごい量、おっぱいの間に、溜まっちゃってるわよ……っ

開いて、見せてあげよっか……っ？

ほら♪

花蓮「やだ、ほんとすっごい量……。

うっわ、ザーメンブリッジ、ふっとお……。

真由莉「ほら♪ ボクくん、もつと見てっ

「これぜっっっんぐ、ボクくんが出したんだよ……っ

粘り気も強くて、ぬばあっっっつて……♪

おっぱいの間で、散々糸引いちゃってるね……♪

ふふ、いつもはこれ全部、おへちに出して、
私たちに飲ませてるのよ……っ？

花蓮「ボクくん、えっぐい量絞り出されちゃったねえ…。

むう、二発目なのに、

私の時より量、多いんじゃないの？

ぐぬぬ…やっぱりさすがにパイズリでは、

真由莉さんに勝てないかあ…

(■※フェラ位置に移動)

よし、決めた。

じゃあ今日はせめて射精回数は、

真由莉さんより上回ってみせるわ…

ちゅぱ… れろちゅぱ… ちゅぱ…

(■※おそうじフェラ 30秒)

真由莉「あらら…。

ボクくん、ごめんなさい…。

何だか可憐さんに、火を付けちゃったみたい…。

(■※耳元に寄って、囁く感じで)

こうなつたら、もう止まらないから…♪

今日も精子がからっぽになるまで

抜かれ続けちゃうと思うけど…

許してね… ボクくん…♪

(■※〜終〜)